

Title	執筆者紹介；編集後記
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾福沢研究センター
Publication year	2019
Jtitle	近代日本研究 (Bulletin of modern Japanese studies). Vol.35, (2018.)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10005325-20180000-0229

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

執筆者紹介（掲載順）

西山 伸
京都大学文学書館教授

望月 雅士
早稲田大学教育学部非常勤講師

都倉 武之
慶應義塾福沢研究センター准教授

寺島 宏貴
国立公文書館調査員

蔭木 達也
慶應義塾大学大学院
経済学研究科後期博士課程

原田 環
県立広島大学名誉教授

山内 崇史
慶應義塾大学大学院
法学研究科政治学専攻
前期博士課程修了

編集後記

太平洋戦争下、文科系学生の徴兵猶予が停止され、いわゆる「学徒出陣」が実施されてから、二〇一八年で七五年となった。慶應義塾福沢研究センターでは、二〇一八年一月一日・二日に学徒出陣七五年シンポジウム／研究報告「慶應義塾と戦争」を開催した。本誌でも「学徒出陣七五年」を特集テーマとし、同シンポジウム／研究報告でコメントーターを務められた京都大学の西山伸氏から「戦争末期の「学徒出陣」と題して、同じく早稲田大学の望月雅士氏から「学生と兵役」と題して、貴重なご論考を頂戴した。主催者側においても、都倉武之氏から「慶應義塾における御真影奉戴と奉安所」と題する論考を提供していただいた。深く感謝申し上げます。次第である。

一般公募論文は、査読の結果、論説一本と研究ノート三本が掲載された。明治初期新聞の「公議」、「青轡」における「女性」概念、井上角五郎の朝鮮情報に関する基礎的調査、「福沢諭吉『分権論』における公共性」と例年通りテーマは多岐にわたるが、近代日本のメディア史、女性史、外交史、思想史をめぐる意欲作が並んだ。資料紹介として、福沢諭吉関係の新資料紹介を収めている。

本誌は、そのタイトルが示すとおり、近代日本研究に取り組む研究者たちにとって、慶應義塾内外に開かれたよき知的フォーラムとなりたいと考えている。次号は二〇二〇年二月刊行予定である。多数の意欲的論考の投稿を期待する。